

墨水会だより

題字：32回 石出直子

(旧府立第七中学校) 都立墨田川高校全日制同窓会 発行責任者 梶原徳二

府立七中・都立七中・都立七高・都立墨田川高等学校

創立百周年記念

式典会場

2022年10月5日午後 すみだトリフォニーホール



祝賀会会場

2022年10月5日午後 東武ホテルレバント東京



祝賀会の前に東武ホテルレバント東京にて墨水会総会を開催します



母校創立百周年を迎えて 会長就任のご挨拶

墨水会会長 墨田川 4回 梶原 徳二

墨水会の皆さんお元気ですか。一昨年、昨年と続いた新型コロナウイルス感染症の旋風に対して、無事に突破されて来られたことと思います。感染の拡大を抑えるために、世界各国とも並んで我が国も緊急事態宣言を発し、学校教育を含む多くの公的会合が制限され、また一般の事業・作業などの活動が抑えられてしまいました。最大の国家的な催事であったオリンピック・パラリンピックも多くの制限が課され残念な実施に成ってしまいました。とにかく国運を辱めることもなく実施できたのは幸運であったというべきかもしれません。

更に、皆さんも大いに気にされていた今年(2022年)10月に迎える我が母校の創立百周年祝賀の準備のための打ち合わせも十分には出来ず、ようやく制約が緩やかにされてきた昨初春からのスタートになりました。幸いにもその春先に第25代校長寺島雅夫先生と副校長の石村晶子先生が着任され、早速の百周年準備に間に合わせて頂いたこと

でした。すでに始めていた準備資金の募金も徐々に集まっていたので、初速の動きとして実働開始の学校側が要望されていた校内連絡のための大型情報モニター2台を百周年記念としていち早く設置をすることが出来ました。これは幸運のタイミングでした。

加えて、以前から心配しておりましたのが百周年記念式典の举行場所の問題でした。これまで八十、九十周年等でお借りしていた会場は(もちろん当校講堂では間に合わず今までもお借りしていたのですが)百周年にふさわしい格式と多数の来場者の受け入れの問題があり大いに悩んでいたところでした。

これが4月になってから横井副会長のご縁で、山本墨田区長にお願いすることが出来、格別のお手配でトリフォニーホールをお借りすることが出来たのです。日程は主要使用者の新日本交響楽団の都合にも合わせ記念日翌日の10月の5日に決めて頂いたのも誠に有難いことでした。問題はこの秋の新型コロナウイルス、オミクロン型の感染伝播

が問題です。これらの感染力が収まり、無事予定通り行事が実行できますよう祈ります。両国高校は新型コロナウイルスの影響を一部被ったようですが、この三中戦には勝ちたいですね。

百周年の話にだけなってしまうましたが、実は長い間墨水会の会長としてご尽力を頂いた泉妻君が母校でもある東京工業大学の業務が多忙となり、当方の会長を辞退されることになりました。多年、同窓会幹事会、役員会、総会を主宰し、その会議記録等も制作して誠実にお勤め頂いたことは、誠に感謝に堪えません。ご苦労様でした。小生は長年顔だけ出席の副会長でしたが、卒業年次の古い者として後任に推挙され遠慮いたしました。が、年の割に元気だということやむを得ずお受けいたしました。しかし愛する母校の百周年に当たる会長として誠に名誉であることは肝に銘じております。かくなる上は先輩会長の海谷さん井上さん方をはじめとして、墨水会を名だたる校友会として育ててこられた多くの同窓生、関係者の皆様と共に、百周年を契機として更により良い母校の伝統を築くよう懸命に努力することをお約束して、ご挨拶といたします。

墨水会役員一覧表

会長	梶原 徳二 (高4回)
副会長	大木 善夫 (中20回)
	難波 直人 (高10回)
	横井 正男 (高13回)
	谷澤 尚樹 (高15回)
	竹鼻 宏子 (高15回)
	加藤多恵子 (高15回)
	清澤 健一 (高17回)
	小川 浩平 (高18回)
	鈴木 憲康 (高18回)
	高田まさ江 (高18回)
	出羽 邦夫 (高23回)
	山内 雅哉 (高30回)
	宮本 雄司 (高30回)
	山内 雅哉 (高30回)
	藤原 英明 (高43回)
	谷澤 尚樹 (高15回)
	宮本 雄司 (高30回)
	石井 温 (高31回)
	海谷 利宏 (七高1回)
	井上 常一 (高3回)
	泉妻 秀一 (高8回)
	内田 博万 (高4回)
顧問	
幹事長	
副幹事長	
会計	
会計監査	
相談役	

(財)七星会役員一覧表

会長	梶原 徳二 (高4回)
業務執行理事	谷澤 尚樹 (高15回)
理事(会計)	加藤多恵子 (高15回)
	清澤 健一 (高17回)
	山内 雅哉 (高30回)
	難波 直人 (高10回)
評議委員	横井 正男 (高13回)
	竹鼻 宏子 (高15回)
	藤原 英明 (高43回)
	小川 浩平 (高18回)
	宮本 雄司 (高30回)
	高橋 幸男 (高18回)
監事	
外部評議委員	



お礼のご挨拶！

墨水会前会長 墨田川8回 泉妻 秀一

平成二十六年十月に井上前会長の後任として墨水会の会長をお引き受けし、昨年十一月の総会にて退任させて頂くまで、母校・同窓会・美汀会・墨汀会など関係諸団体の皆様方の強力なご支援と心温まるご援助を頂き七年間の長きにわたり大過なくなんとか会運営の責任を果たすことが出来ました。ご支援頂いた関係各位皆様方のお陰様と今更ながら感謝の気持ちで一杯です。

後任の第十代会長をお引き受け下さった新会長は高校第四回の昭和二十七年卒業の秀才で一橋大のご出身であり、入社した現働カジワラキッチンサプライを日本有数の厨房設備・調理機器・菓子製造設備の専門メーカーに育て上げたエリートです。関係設備全般の企画・設計・施工の技術力に加え強力な販売体制を作り上げ、主要取引先はみな日本を代表する有名企業です。

羊羹の虎屋、銀座コージコーナー、中村屋、サティワンアイスクリーム、築地銀だこ、永谷園、山崎パン等々数え上げたらきりが有りません。

本年末に母校が創立百周年を迎える

に当たり記念行事の準備を進めております。私自身現在東工大同窓会・産学

連携支援部会のメンバーとして大学の運営に携わっており、又八十一か国からの海外留学生担当責任者として多くの時間を取られており母校百周年事業に対して全力投球することが難しく百周年に一年を切った差し迫った段階で申し訳け有りませんが退任させて頂き、今までも副会長として、会の運営に積極的に参加され、その強力な母校愛をもって貴重なご意見を頂いております。四年先輩の梶原さんに新会長・百周年記念事業実行委員長をお引き受け頂いた次第です。

さて私の就任直後から、通常退任される会から離れる方が多い中、先々代会長の海谷顧問には弁護士として職務多忙の中、余程のことがない限り母校の催しや墨水会の行事・役員会等にご出席頂き各種の助言を頂きました。加えて財団法人七星会の運営に当たりましては行政・官公庁への各種届出を含め、会全体の運営に関して貴重なご意見を頂き大変助かりました。厚く御

礼申し上げる次第です。又、加えて井上前会長にもすべての面でお世話になりました。多くの時間をさいて広報委員としてもご参加頂き、墨水会だよりの毎号の表紙を飾る写真撮影とその解説を担当して頂いてきました。体力の続く限り今後も担当して頂けるのとです。

又、七年間の任期中大木副会長を始めとして役員の皆様には大変お世話になりました。特に事務局として墨水会全般に加え財団法人七星会の二寮の管理まで担当頂いた谷澤副会長、それらの作業への協力に加え墨水会ホームページも担当し、校歌祭事務局の実行委員長として頑張ってくれている清澤副会長のご兩名にもお世話になりました。又、山内副会長には幹事長としての運営に関し多々貴重なご意見を頂きました。実務面でも常任幹事会の招集、会の進行まで一手に引き受けて頂いてきました。宮本副会長・会計監事には墨水会に加え財団法人七星会の会計監査までお願いし、昨今コロナで学校が使用状況下各種場合に宮本会計事務所対応にご協力頂き本当に有難うございました。竹鼻・加藤副会長には谷澤事務局の強力な助っ人として多くの時間を割いて各場面でご協力頂きました。又、総会関係では横井、小川副会長、広報関係では難波副会長に各種書類の整

備・会員への周知徹底に実力を発揮して頂きました。鈴木・高田副会長には校歌祭担当として委員会に出席し開催日の諸担当でもご苦労頂きました。

又、教師として生徒指導を続けながらOBとしてご協力頂いた野崎先生にも御礼申し上げます。

そして年五〜六回開催の常任幹事会に積極的に参加され会の運営に協力頂いた年度別常任幹事及びサッカー部、テニス部、柔道部からの代表幹事の皆様に厚く御礼申し上げます。

歴代校長先生、私は第二十二代大澤紘一先生、二十三代上村肇先生、二十四代坂光司先生、そして現在の二十五代寺島雅夫先生にお世話になりました。母校もご承知の通り平成十二年より進学重視型単位制高校として発足しましたが今年で丁度十年目となりました。この間歴代校長先生や教職員の皆様の制度確立への努力と試行錯誤が入り交じりなかなか進学成績向上に繋がらぬ面も有りましたが文武不岐の精神をもつて進むとの命題のもとに生徒育成に努められ進学偏差値の向上を見ることが出来ています。

これからも頑張つて前進して欲しいと願いつつ、七年に及ぶ在任期間中にお世話になり、ご協力を頂きました皆様に衷心より御礼申し上げます。挨拶とさせていただきます。



新学習指導要領の実施に向けて 新しい学びに対応する墨田川高校

第25代校長 寺島 雅夫

我が国における学校での教育活動は文部科学省が定める学習指導要領に基づいて実施されています。これまで、約10年ごとに改訂がなされ、現在に至りま
す。過去を見れば、1989年改訂では高等学校家庭科の男女必修化が導入され、1998年改訂では総合的な学習の時間と情報科が導入されました。2008年改訂では小学校に外国語活動が導入され話題となりました。その時代の社会背景を反映した改訂であることが分かります。

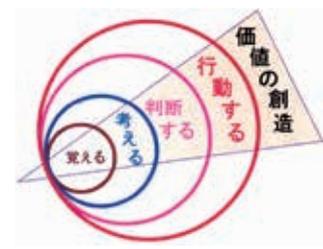
さて、前回改訂からはすでに10年が過ぎています。小学校、中学校ではすでに新学習指導要領のもとでの新しい学びが始まっています。高等学校もいよいよ令和4年度から始まります。今回の改訂のポイントも、これまで同様に社会背景を反映させた形となっています。

現代は大量の情報が世の中に氾濫している状態です。その大量の情報を誰もが簡単に手に入れられる時代でもあります。そして、情報をうまく活用することで、社会のリーダー的役割を担う企業や人材が多く存在しています。これが

Society 4.0と言われる現代社会です。誰もがコンピュータを活用して仕事や生活の質を向上しようと努めています。それでは、次に来る Society 5.0 の社会とはどのようなものでしょう。一部では Society 5.0 がすでに機能し始めています。内閣府の「第5期科学技術基本計画」では Society 5.0 は次のように定義されています。「仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」である。そして、現在の社会 (Society 4.0) が抱えるさまざまな課題に対して、最新技術を利用して克服し、社会の変革を通じて日本が目指すべき「未来社会の姿」を提唱しています。この最新技術とは、今話題の AI (人工知能) やロボットです。人間と AI が共存しながら、人間中心の未来社会を築いていく人材が求められています。あくまでも「人間中心の社会」です。その社会で活躍し、生き抜くことのできる人材を育てようと新しい学習指導要領が策定されました。

AIは優秀です。計算ミスもなく完璧

な存在です。膨大なビッグデータから瞬時に最も適切な解答を導き出します。あらゆる条件を計算に入れ、いわゆる最適解を見つけ出すのです。つまり、膨大なビッグデータやあらゆる条件が存在して初めて AI が機能します。逆に言えば、全くの「無(ゼロ)」からは「何か」を生み出すことは AI にはできないのです。一方、少ない情報量でも、不十分な条件であっても、想像を働かせ、思考することによって、最適な解答を創り出すことができるのが人間です。次の社会で生きるのは、この能力が必要であり、この能力こそが人間中心の社会を形作るのです。結果として新たな付加価値を創造することが期待されています。本校では新学習指導要領に基づき、その能力を身に付けさせるため



に、次の3つの新しい学びを実践していきます。この図は新しい3つの学びの実践をイメージ化したものです。

①主体的な学び (自ら考える学び)

これまでの学習では、自学自習、つまり「自主的な」という表現を使う機会が多かったと思います。自主的とは、すべきことがすでに決められていて、それについて自ら積極的に取り組むことを示します。これに対して「主体的な」と

は、「何をすべきか」についても自分で決め、どのようにすべきかを自分で計画し、その計画に基づいて学びを実践することを示しています。自分の持っている知識を最大限に活用して、「考える」ことが重要になります。記憶する力ではなく、考える力を身に付けさせるために、授業内での「発問」を工夫していきます。質問に対して正解を答えるだけでなく、正解への思考経路を明確にする発問で授業を展開していきます。正解を見つけないでなく、自分の思考を積み上げていくことが授業のねらいのひとつとなります。

②対話的な学び (判断するための学び)

これまでの授業では、教師が説明し、板書し、それを生徒が聞き、板書をノートに写すという一方通行的な授業スタイルが大半を占めていました。しかしこれからは、教師と生徒との対話、生徒同士の対話の中で新しい学びを実践していきます。受動的であった学習を能動的な学びへと変換していくのです。これは授業の中で生徒が活動することではなく、思考そのものを能動的に変えるということです。

これからの社会において生じる課題は、必ずしも一つの課題に一つの解決策という一対一の関係であるとは限りません。他者と対話をすることで、自分が考えたものとは異なる解決策があるこ

とに気づきます。一つの課題に複数の解決策が存在し、他者との対話を通して、どの解決策を選択するかという判断が求められます。どの解決策が効果的か、社会に最適な解決策はどれか、根拠をもって判断することが重要となります。対話の中から、その根拠を見出ししていくのです。この力は社会を生き抜くための力へとつながるものです。根拠ある「判断」や「決断」ができてこそ、社会で活躍するための行動が生まれてきます。判断や決断こそが生きる道標となるのです。学校の勉強は実社会では役立たないと言われたのは過去の話です。対話による能動的な思考という学び合いを通して、七高生には次の社会で活躍できる思考力、判断力、決断力を身に付けられるよう教育活動を展開していきます。

③深い学び（新たな価値の探究）

これら①②の新しい学びだけでも教育活動の大きな変化ですが、次の社会で活躍する人材を育てるには、まだ十分とは言えません。自分の判断や決断を行動に結び付け、自分の主張や意見を他者に伝えることができてこそ活躍の場が広がります。しかし、ただ伝えるだけであればAIにもできます。自分の主張や意見に「新たな価値」を付け加えて伝えることができてこそ、次世代のリーダーとなり得る可能性が拓かれます。AIと共存する中で、①②の学びを活用し、自分なりの判断で行動し、そこに新しい考

え方を取り入れたり、全く異なる分野の考え方を融合させたりすることで、新たな概念を生み出すなど、AIにはできない「新たな価値の探究」につながる柔軟な創造力を学校教育の中でも育成していく必要があります。上辺の学びではなく、学校教育で学んだことをそれぞれの生徒が自分なりの価値基準で深く掘り下げて探求していく力を付けさせなくてはいいけません。そこに、他者の真似ではない、唯一無二の新たな価値が生まれるのです。

これは決して簡単なことではありません。高等学校教育の中だけで完結できるものでもないと思います。次のステップとなる大学、あるいは社会人になってからも磨いていかなければならない力です。現役の生徒にも将来に渡り、諸先輩方同様に必ず社会で活躍できる人材になってくれると信じています。そのために、日々、教職員一人一人が生徒に真剣に向き合っています。その熱意は確かなのです。

本校は令和4年度の百周年を機に、このような新しい学びに向かって進んで参ります。日頃の御支援、御指導に深く感謝するとともに、諸先輩方が築き上げた伝統を大切に、七高として新たな価値の創造に向かって邁進して参ります。これからも御指導御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

美汀会会長ご挨拶

美汀会会長 安部 敏啓

平素より、墨水会の皆様におかれましては美汀会の活動にご理解頂き深く感謝申し上げます。改めまして令和三年度美汀会会長の安部と申します。

新型コロナウイルスの話を出不さない訳には行きません。

新型コロナウイルスが叫ばれ出して早二年。緊急事態宣言中は基本的に全ての活動を停止し、美汀会存続の為に最低限の事だけをしてきました。あらゆるイベントや活動が出来ないままほぼ二年が経過しました。三年間しか無い活動を考えますと、来年度は平常時を一度も経験した事が無いメンバーで活動する事となります。

満足な活動が出来ない中、役員さん、実行委員さんは皆悩んでいます。来年度どうしたらよいのか？どう引き継いだらよいのか？と。

経験をしていない事を引き継げる訳もなく、当然ながら説得力もありません。それでも、活動は無くとも運営委員会は可能な範囲で開催してきました。ただし、話す事はイベントの中止や引継ぎについて。何か出来る事は無いのか？と考えてくれている人にとっては大変辛い状況は今も続いています。

私自身、何も出来ずに一年が終わってしまふ事、とても申し訳ない気持ちと情けなさで一杯です。そんな中でも生徒達は日々学校に来て勉学に励んでいる訳です。美汀会としても保護者としても生徒が学校を楽しんでもらい、安全安心な生活を送れる事の後押しをする事が最優先であろうと考えます。

世の中は既に新しい生活様式となつています。美汀会の活動もそれに併せて変革し、学校・墨水会様と足並みを揃えるべきだろうと考えます。

百周年行事を本年十月に控え、より一層の連携を強くする必要があると感じています。

最後に墨水会の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、今後も引き続き細やかな後方支援を宜しくお願ひ申し上げます。



令和3年度

墨水会事業報告

令和2年10月6日〜令和3年11月13日

墨田川10回
難波 直人

1. 第98回墨水会総会
令和2年10月7日 於 上野東天紅
新型コロナウイルス感染症拡散予防のため中止になりました。
総会で決議・承認すべき事項は、墨水会ウェブページに掲載し、希望する会員には資料を配布しました。
2. 第1回広報委員会
令和2年10月7日 於 同窓会室
百周年記念名簿発刊について話し合いを行いました。
3. 第2回広報委員会
令和2年10月16日 於 同窓会室
百周年記念名簿に掲載する沿革史、写真等の検討を行いました。
4. 第1回役員会
令和2年11月11日 於 宮本会計事務所
毎年12月に開催されている忘年会兼第1回常任幹事会と4月に開催される第2回常任幹事会は中止にする事になりました。
百周年事業の一環として、学校へ大型ディスプレイを寄贈する事になりました。
5. 第3回広報委員会
令和2年12月11日 於 同窓会室
百周年記念名簿の内容点検と、会報(墨水会だより28号)発刊にむけての話し合いを行いました。
6. 第4回広報委員会
令和2年12月24日 於 同窓会室
会報の発刊について話し合いを行い、今年度も例年通りA4の大きさで16ページの冊子で(株)サラトに注文する事になりました。
7. 第5回広報委員会
令和3年1月13日 於 同窓会室
(株)サラトの担当者と会報発刊の契約(3千部)を行いました。又、百周年記念事業の一環として、第1校舎、第2校舎の玄関奥に大型ディスプレイ2台を設置しました。
8. 第2回役員会
令和3年1月25日
新型コロナウイルスの為、中止になりました。
9. 第6回広報委員会
令和3年2月5日 於 同窓会室
会報発刊の為、記事の割り付等の作業を行いました。
10. 第7回広報委員会
令和3年2月11日 於 同窓会室
会報発刊の為の最終点検作業を行いました。
11. 第3回役員会
令和3年3月26日 於 宮本会計事務所
百周年事業についての墨水会の取り組みについて話し合いを行いました。
墨水会として実行委員長を墨田川4回 梶原副会長とする事になりました。
12. 第4回役員会
令和3年4月14日 於 宮本会計事務所
百周年祝賀会を墨水会がメインで、式典については学校がメインで主催する事を確認しました。又、協賛金については、墨水会は独自で行う事になりました。その他の事業については、学校、美汀会、墨汀会等と協力して行う事を申し合わせました。
13. 第1回常任幹事会
令和3年4月19日 於 会議室
百周年事業についての経過報告がなされました。また、寄付状況の報告があり、さらに多くの方をお願いをする為、名簿を購入された会員に会報を配りつつ寄付をお願いする事になりました。最後に各幹事に会報を必要枚数お渡しし、散会しました。
14. 第1回学校との百周年事業についての話し合い
令和3年4月26日 於 校長室
寺島校長、石村副校長、野崎教諭と梶原・泉妻・谷澤・小川4氏が出席し、百周年記念事業について話し合いを行いました。
15. 第8回広報委員会
令和3年4月26日 於 同窓会室
名簿購入者へ会報を郵送し、寄付を募るための作業を行いました。
16. 第2回学校との話し合い
令和3年4月30日 於 校長室
学校関係者3名と梶原・横井・谷澤3氏が出席し話し合いを行い、いつも問題になる式典会場については墨田区の協力もあつて令和4年10月5日にすみだトリフォニーホールにて行う事に決まりました。
17. 第9回広報委員会
令和3年4月30日 於 同窓会室
寄付を募るため名簿購入者への会報郵送作業を行いました。
18. 美汀会役員との百周年についての話し合い
令和3年8月7日 於 カジワラビル会議室
美汀会会長と墨水会の役員との1回目

の会合が行われ、今後定期的に会合を持つ事になりました。尚、美汀会として百周年事業の積立金があるとの報告がありました。

19. 第5回役員会

令和3年8月22日 於七生寮

例年通り七生寮視察が行われ、今年度も12名の役員が集合し、話し合いを行いました。

今年度は懇親会を中止し、総会については是非開催すべきであるという意見が多数あり、11月中に行う事を次回の常任幹事会にて諒承していただく事になりました。

又百周年事業については、新型コロナウイルスのため準備が進まず盛り上がり欠けているので、盛り上げる方法等について話し合いを行いました。

20. 第2回常任幹事会

令和3年9月13日

於すみだ女性センター

今年度の総会は、11月14日(日曜日)に台東区生涯学習センターにて開催する事になりました。又、百周年事業に関する墨水会の担当者を決める事になりました。

21. 第6回役員会

令和3年9月28日

於カジワラビル会議室

同窓会会館を設立する事が提案されました。

候補として、東武亀戸線の小村井駅近くの物件が紹介され後日見学に行く事

になりました。又、墨水会の百周年実行委員会担当者が案が提示され、検討しました。

22. 同窓会館候補物件見学会

令和3年10月3日

小村井駅から徒歩5分・3階建の物件を見学しました。

23. 第7回役員会

令和3年10月6日

於カジワラビル会議室

先日見学した同窓会館について、海谷顧問、梶原実行委員長より、説明があり、意見を出し合いました。

24. 第3回常任幹事会

令和3年10月13日

於すみだ女性センター

百周年実行委員会墨水会担当役員が次のように提案され、諒承されました。

企画運営全般：梶原・泉妻・海谷・井上・谷澤

会計全般・監査：加藤・竹鼻・宮本

案内状・受付等：横井・小川・宮本

記念品企画・記念事業：谷澤・清澤・山内

式典関係：泉妻・清澤・山内

祝賀会関係：梶原・横井・小川

記念誌：谷澤・加藤・竹鼻・清澤

同窓会館設立についての説明と2寮についてのこれまでの話し合いの経緯について説明があり、話し合いが行われました。

最後に会計報告、事業報告は、墨水会ホームページに掲載する事で会員の皆様にお知らせする事にし、総会案内葉書を各期の幹事に必要枚数お渡しして散会しました。

その他

楽水寮視察 【令和2年12月1日】

9月・10月・11月の宿泊費の精算とトイレの修理点検を行いました。

学校運営連絡協議会 【令和2年12月17日】

泉妻氏・小川氏が出席しました。学校より今年度の目標と方策、又生徒指導、進路指導等の報告がありました。

楽水寮視察 【令和3年3月1日】

12月・1月・2月の宿泊費の精算とテレビのブースター交換の点検を行いました。

創立百周年記念名簿、墨水会だより完成 【令和3年3月3日】

創立百周年記念名簿と墨水会だより28号が完成しました。

楽水寮視察 【令和3年4月6日】

3月の宿泊費の精算と網代さんとの管理契約更新を行いました。又3ヶ所の階段の修理状況を点検し、安全を確認しました。

七生寮視察 【令和3年5月10日】

星野屋と管理契約の更新を行いました。又寮内外を見てまわり、異状のない事を確認しました。

楽水寮視察 【令和3年7月15日】

4月・5月・6月の宿泊費の精算と、7月・8月の夏季開寮についての打ち合わせを行いました。

七生寮開寮準備

【令和3年7月27日・28日】

今回は5名で作業を行いました。

七生寮開寮

【令和3年7月29日・8月22日】

谷澤氏、清澤氏が交代で管理を行いました。中旬、雨が多い時期があり、雨漏りがありました。今年度の利用者数は105名でした。

七生寮視察 【令和3年8月21日】

14名の参加者があり、役員会の後、懇親会を行い、翌日解散しました。

七生寮閉寮作業

【令和3年8月22日・23日】

昨年同様墨汀会の2名の方の協力があり、4名で行いました。

楽水寮視察 【令和3年9月7日】

7月・8月の宿泊費の精算を行いました。

七生寮視察 【令和3年11月9日】

寮の雨漏りの状況確認、星野屋の担当者と打ち合わせ(小荷田さん退職に伴う事務連絡等について)

令和2年度 墨水会会計報告

収支計算書(令和2年度)

令和2年7月1日から
令和3年6月30日まで

1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	摘要
R2年度卒業生入会金	2,368,000	296名×8,000円
名簿代(R2年度卒)	1,264,200	294名×4,300円
名簿販売	4,300	1冊
寄付金	7,706,938	150名
利子	14,146	定期預金等
当期収入合計(A)	11,357,584	

2 支出の部

科目	金額	摘要
墨水会会報費	527,780	3,000部
名簿代	2,030,450	百周年記念名簿
通信費	229,062	切手代、郵送代
会議費	275,735	常任幹事会、広報委員会、役員会
学校補助金	558,360	大型ディスプレイ2台
渉外費	26,000	(財)七星会
事務委託費	721,000	小荷田さん、谷澤さん 給与・交通費
雑費	109,825	封筒代等
雑損失	264,000	期首在庫品処分
当期支出合計(B)	4,742,212	

3 当期剰余金の部

科目	金額	摘要
当期収入合計(A)	11,357,584	
当期支出合計(B)	4,742,212	
当期収支差額 (A)-(B)	6,615,372	
期首在庫品(C)	264,000	66冊×4,000円
期末在庫品(D)	5,615,800	1,306冊×4,300円
当期剰余金 (A)-(B)-(C)+(D)	11,967,172	前期剰余金10,181,193

繰越金計算書

前期繰越金	42,260,802	
当期剰余金	11,967,172	
次期繰越金		54,227,974

以上のとおり御報告申し上げます。

令和3年11月14日

墨水会 会長 泉 妻 秀 一

墨水会 会計 谷 澤 尚 樹

開始残高

令和2年7月1日

1 資産の部

(単位:円)

定期預金	33,000,000	(一般口座18,000,000) (寄付口座15,000,000)
普通預金	8,737,050	(一般口座 6,995,339) (寄付口座 1,741,711)
現金	259,752	
在庫品	264,000	
資産の部合計		42,260,802

2 繰越の部

繰越金	32,079,609
前期剰余金増加額	10,181,193
繰越の部合計	42,260,802

閉鎖残高

令和3年6月30日

1 資産の部

(単位:円)

定期預金	38,000,000	(一般口座22,000,000) (寄付口座16,000,000)
普通預金	10,773,744	(一般口座 2,877,036) (寄付口座 7,896,708)
現金	102,430	
在庫品	5,615,800	
資産の部合計		54,491,974

2 繰越の部

繰越金	42,260,802
当期剰余金増加額	11,967,172
繰越の部合計	54,227,974

監査報告書

墨水会定時総会議長 殿

令和3年11月14日

令和2年度墨水会収支計算書及び諸帳簿関係書類を監査した結果、その数字は正確であり、かつ正当であった。

各帳簿、領収書、証拠書類の保存整理も整然としてあったことを御報告申し上げます。

墨水会

会計監査 宮本 雄司

会計監査 石井 温

創立百周年事業へのご寄付状況とお願い

会計 墨田川15回 谷澤 尚樹



墨水会では、三年前より、今年催される記念事業に向け資金積立へのご協力をお願いして参りましたが、今回も百十三名の会員からのご芳志を賜り合計で二千二十二万三千元と多額のご寄付を集め、クラブ活動支援(水泳部・ボート部のインターハイ出場)を行いました。誠にありがとうございました。ところで新型コロナウイルスの感染拡大により大幅に遅れておりました学校・墨水会・美汀会・墨汀会が一体となった「百周年事業実行委員会」を昨年十二月に立ち上げました。これから百周年事業にふさわしい記念式典・祝賀会・記念誌・記念事業(記念品等の計画運営を行ってまいりたいと存じます。皆様におかれましては、今後の長引くコロナ禍の影響もあり厳しい経済状況の中、出費多端の折、大変恐縮と存じますが母校の百周年記念事業が初期の目的どおりに推進できますよう、趣旨にご賛同いただき、募金に今後とも協力賜りますようお願い申し上げます。尚、ご寄付いただいた方には百周年記念誌と記念品を贈呈する予定にしております。又祝賀会のご案内もお送り致します。

第二十五回寄付金一覧 平成三十年一月より令和三年十二月末日

Table with 3 columns: Name, Number of Contributions, Amount. Includes names like 石橋 孝子, 渡辺 寿, etc.

Table with 3 columns: Name, Number of Contributions, Amount. Includes names like 竹鼻 宏子, 加藤 多恵子, etc.

Table with 3 columns: Name, Number of Contributions, Amount. Includes names like 清澤 健一, 小川 浩平・弘子, etc.

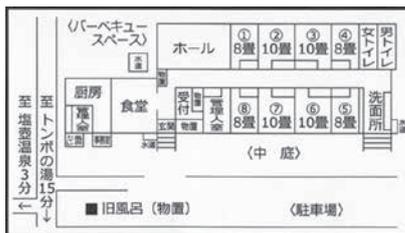
Table with 3 columns: Name, Number of Contributions, Amount. Includes names like 三河 麟一, 唐松 重義, etc.

二寮のご案内



軽井沢 七生寮

七生寮



〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉字赤岩2148
☎0267-45-5672

◆交通案内◆

- 電車 東京駅北陸新幹線にて1時間15分「軽井沢」駅下車
「星野リゾート」シャトルバス15分
しなの鉄道「中軽井沢」駅より徒歩25分
- 自動車 関越自動車道藤岡経由で長野道に入り軽井沢インターにて一般道に下り国道146号經由アートホテルVILLA11前を右折、突き当りを右30m先左側

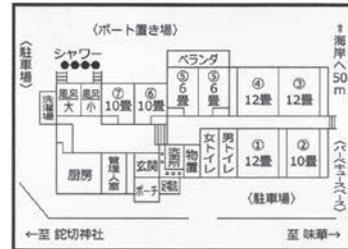
- 利用期間 7月下旬から8月下旬
- 申込方法 6月1日より受付を行います。
090-9817-2213 (谷澤)
090-8745-9257 (清澤)
- 利用料金 素泊：大人…3,000円 (中学生以上)
小人…2,000円 (小学生)
在校生…2,000円
休憩：大人…2,000円
小人…1,000円
在校生…1,000円
厨房利用：1日 500円
- チェックイン チェックイン：午後2時
アウト チェックアウト：午前10時

お風呂は
割引きのある
トンボの湯、
塩巻温泉を
ご利用下さい



房総館山 楽水寮

楽水寮



〒294-0303 千葉県館山市浜田160
☎0470-29-0127

◆交通案内◆

- 高速バス JRバス東京駅八重洲西口より館山駅行特急バス
座席指定が1時間毎に運行されております
- 電車 東京方面からは内房線各駅停車にて「館山」駅下車
駅前よりバスにて20分「安房浜田」徒歩5分
- 自動車 高速館山道終点富浦ICにて一般道に下り洲崎方面に
向かい中華料理(味華)脇を右折3分

- 利用期間 原則として通年ご利用できます
- 申込方法 夏季休校中の予約は6月1日より
7月20日迄は
090-9817-2213 (谷澤)
その他の期間は
0470-29-0127 (楽水寮 網代)
- 利用料金 素泊：大人 3,000円 (中学生以上)
小人 2,000円 (小学生)
在校生 2,000円
休憩：大人 2,000円
小人 1,000円
在校生 1,000円
厨房・バーベキューセット利用：1日 500円
- チェックイン チェックイン：午後2時
アウト チェックアウト：午前10時

(長い間寮使用の受付事務を担当していただいた小荷田さんがこの3月をもって退職する事になりました。そのため申し込み受付方法を上記のように変更せざるを得なくなりましたので宜しくお願い致します。)

二寮について

(財)七星会業務執行理事
墨田川15回 谷 澤 尚 樹

昨年度の二寮利用状況は、七生寮が百三十八名、楽水寮は三百六名で宿泊収入は合計で約百三十六万円でした。それに対し支出は約四百五十八万円、約三百二十万円の赤字でした。近年毎年同じ様な状況が続いており苦慮しております。

この様な状況の中今後このまま二寮を維持管理してゆく事は無理ではないかと思われ、寮検討委員会としても、楽水寮か七生寮のどちらか一つの寮を維持していく方向で検討しております。

生徒の利用もなくなり、学校・美汀会の支援もむずかしいことから事を考えると、墨水会のさらなる援助が必要かつかせないものと思われ、今後も(財)七星会に対しご支援の程、宜しくお願い致します。

(財)七星会 収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

1 収入の部

科 目	予算額	執行額	増 減	備 考
1. 事業収入				
七生寮収入	300,000	428,500	128,500	
楽水寮収入	1,500,000	929,000	△571,000	
2. 寄付金収入	0	0	0	
3. 預金利息	2,000	12,816	10,816	
4. 雑収入	0	598,946	598,946	火災保険金(台風)、還付金
5. 定期預金取崩額		3,000,000	3,000,000	9/2 定期預金取崩し
当期収入合計	1,802,000	4,969,262	3,167,262	
前期繰越収支差額	4,299,033	3,032,170	△1,266,863	
収入合計	6,101,033	8,001,432	1,900,399	

2 支出の部

科 目	予算額	執行額	増 減	備 考
1. 事業費				
給料手当	844,000	844,000	0	
臨時雇賃金	500,000	366,000	△134,000	
食糧費	0	0	0	
福利厚生費	10,000	5,140	△4,860	
通信運搬費	150,000	111,191	△38,809	
消耗品費	100,000	93,600	△6,400	
水道光熱費	1,000,000	778,319	△221,681	昨年度 977,066円
保険料	150,000	145,790	△4,210	火災保険 (七生寮・楽水寮)
委託費	350,000	355,792	5,792	クリーニング・浄化槽 (七生寮・楽水寮)
雑費	150,000	47,173	△102,827	
事業費合計	3,254,000	2,747,005	△506,995	
2. 管理費				
会議費	40,000	40,000	0	
旅費交通費	350,000	291,560	△58,440	
印刷製本費	0	0	0	
修繕費	400,000	590,600	190,600	台風被害の改修工事 (楽水寮)
事務委託費	330,000	330,000	0	
租税公課	400,000	373,420	△26,580	固定資産税 (七生寮)
管理費合計	1,520,000	1,625,580	105,580	
3. 固定資産取得支出				
内外部改修工事支出	0	0	0	
什器・備品購入支出	100,000	0	△100,000	
固定資産取得合計	100,000	0	△100,000	
4. 施設維持積立金	0	0	0	
5. 法人税・住民税・事業税等	211,000	211,000	0	
支出合計	5,085,000	4,583,585	△501,415	
収支差額	△3,283,000	385,677	3,668,677	

お願いとご連絡

百周年記念誌発刊にあたり会員の皆様よりの記事をお願いしたいと思います。墨田川高校在籍時の思い出等、八百字から千字程度で左記の同窓会事務局迄お送りいただければ記念誌又は会報にて記載させていただきますので宜しくご協力お願い致します。

尚、百周年記念誌の補完そして皆様から昔の資料・写真・データ等を集めたいと思っております。ご協力いただける方は郵送又はメールにてお送りいただければと存じます。これらの資料は同窓会室(第一校舎三階)にて保存し、これからの墨水会活動の一助にしたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

追伸 昨年度の総会にて祝賀会の開催を十一月三日椿山荘にて開催し、又墨水会総会を十月一日に行う事が決定されましたが、式典が行われる十月五日にホテルレバント東京にて開催する事に変更されました。お詫びすると共にお知らせ致します。

あて先

墨田区東向島3-34-14 墨田川高校内

墨水会事務局 墨田川15回 谷澤尚樹

メール nanakou@bokusuiikai.jp

令和4年東京校歌祭について

東京校歌祭実行委員長

墨田川17回 清澤健一

令和2年からのコロナ禍のため東京校歌祭は2年連続中止となりました。

令和4年は、30回目の記念すべき校歌祭となります。墨田川高校百周年記念行事の1か月後の11月3日(木・祝)文化の日に杉並公会堂で開催されます。

この2年間コロナ禍の中で、校歌祭参加予定の学校は、感染予防のため会議が出来ず、リモートやメールなどで連絡を取りあってきました。昨年の12月に激減したコロナもあつというまに全国で一日に十万人もが感染するようになりました。幸い重症になる人が少ないからといって安心はできません。校歌祭の参加者は高齢の人も多く、声をだすことが一番感染につながりません。合唱用のマスクもあるそうですが、大勢の人が集まる中では、無理な開催が出来ません。3年連続の中止は今後の開催に多大の影響をあたえます。コロナの影響はどうなるかわかりませんが準備は万全と整えていきます。

第30回東京校歌祭

11月3日(木・祝) 開会 12時30分

杉並公会堂 (荻窪駅徒歩8分)

令和3年度 部活動状況

墨田川15回 谷澤尚樹

2007年(平成19年)から入学者選抜で、特別推薦制度が導入され、軟式野球部、女子バレー部、吹奏楽部で実施されました。その後水泳部、サッカー部、剣道部でも実施され、平成20年より4年間部活動推進指定校となり、新入生全員を入部させる方針を取りました。その結果2012年(平成24年)には運動部17部、文化部20部でそれぞれ活発に活動していました。現在も運動部18部、文化部16部で当時程ではありませんがコロナに負けず頑張って活動しています。

運動部

- 水泳部 [60名]** 関東大会 5名参加
インターハイ男子100m平泳ぎ28位
- ボート部 [26名]** 女子インターハイ出場(シングルスカル)
お花見レガッタ女子優勝(シングルスカル)
- 柔道部 [男子13名、女子3名]**
インターハイ予選 男子団体ベスト8
女子団体ベスト16
東京都学年別大会 個人女子3位
- サッカー部 [46名]** インターハイ支部予選優勝
- バスケット部 [男子15名、女子15名]**
男子新人戦支部大会優勝、女子2回戦
- 軟式野球部 [11名]** 秋季大会ブロック2位
- バレー部 [男子14名、女子24名]**
インターハイ支部予選 男子2回戦
女子3回戦
- 硬式テニス部 [男子13名、女子24名]**
インターハイ予選 男子2回戦、女子3回戦
新人戦 女子3回戦
- バドミントン部 [45名]**
新人戦男子団体3回戦
インターハイ女子団体3回戦

- ダンス部 [28名]** 高校ダンス選手権ウェブ戦18位
 - 陸上部 [9名]、卓球部 [29名]、ソフトテニス部 [15名]、ハンドボール部 [15名]、剣道部 [5名]** で活動しています。
- ## 文化部
- 吹奏楽部 [159名]** 東京都高等学校吹奏楽コンクール A組金賞
B組銀賞
 - 書道部 [13名]** 国際高校選抜書展(書の甲子園) 秀作賞1名
入選2名
毎日新聞に掲載、他の書展にても入賞
 - 音楽部 [10名]** NHK全国学校音楽コンクール奨励賞
 - 茶道部 [19名]** 全国高等学校文化祭東京大会出場
 - 演劇部 [8名]** 城東地区演劇大会出場
 - 美術部 [10名]** 中央展に出展
 - 文芸部 [8名]** 高文連文芸部門中央大会短歌部門佳作
 - 邦楽部 [21名]** 東京都文化祭出場

フォークソング部 [66名]、生物部 [10名]、物理化学部 [18名]、写真部 [15名]、クッキング部 [22名]、英語部 [4名]、パソコン部 [12名]、天文部 [23名] で活動しています。

学校運営連絡協議会に出席して

墨田川18回 小川浩平



昨年コロナ感染で予定通り開催ができませんでした。今年度も

カッコ内は昨年度73回生のデータ。国立への第一志望の減少が気になる。通テスト進研模試の結果によると得点率が全体としてはまだまだほど遠い結果であった。

ようやく12月1日に開催されました。OB会から泉妻元会長・オブザーバーとして梶原会長も出席いたしました。学校側からは教務部・生徒指導部・進路指導部・総務部より基本方針に基づいた重点項目の進捗説明があり、質疑応答が行われました。

総務部は、学校案内パンフレットの刷新を図り、中学校・塾に7月中旬に送付。内容は高評価であった。コロナ禍で緊急事態宣言中、学校説明会・見学会は中止。夏季休業中の説明会、高校入試ガイダンス、10月、11月と説明会を工夫し行えた。

コロナ禍で学校側も臨機応変な対応で重点課題に取り組んでいます。特にわが校の特徴である旗ごとに行われる伝統の体育祭や、合唱祭・文化祭共に感染対策に工夫して各学年ごとに開催され、生徒も積極的に参加し伝統を継承することができた。修学旅行もコロナ感染終息に向かい、今年12月に長崎で実施することができた。

以上のような報告がなされました。なお、当日資料として頂いた令和3年度「学校要覧」には、同窓会(墨水会)役員一覧と年度別卒業生数が掲載されています。ちなみに、七中卒業生(1~23回)は計5,018名、都立第七高校卒(1~2回)250名、都立墨田川高校卒(3~73回)計24,995名となっています。

進路指導部の目標である第一志望校に向けて最後まであきらめずに学習指導を行っている。但し「第一志望宣言」の内訳は国公立74(102)名、早慶上理40(29)名、GMARCH98(88)名、その他私大91(70)名であった。※

学校創立100年で3万人の卒業生を送り出した伝統校に恥じない学校になつてほしいものです。

令和3年(73回生) 4年(74回生) 進路一覽

(2022年3月11日現在)

大学・学校名等	合格者	
	73回	74回
北海道教育大学	1	
室蘭工業大学	1	
山形大学	2	
筑波大学	3	1
茨城大学	4	
埼玉大学	4	3
埼玉県立大学	3	
千葉大学	4	6
一橋大学	1	
東京学芸大学	3	2
東京都立大学	1	3
横浜市立大学	1	
信州大学	2	
長野大学	1	
島根大学	1	
高知大学	1	
佐賀大学	1	
琉球大学	1	
電気通信大学		1
前橋工科大学		1
公立諏訪東京理科大学		1
高知県立大学		1
合計	35	19

大学・学校	73回	74回
国立看護大学校	1	
防衛大学校	1	
職業能力開発総合大学校		1
合計	2	1

早慶上理	73回	74回
早稲田大学	2	14
慶應義塾大学	2	2
上智大学	1	3
東京理科大学	17	11
合計	22	30

G M A R C H	73回	74回
学習院大学	10	13
明治大学	15	24
青山学院大学	3	6
立教大学	13	16
中央大学	17	15
法政大学	17	37
合計	75	111

私大	73回	74回
麻布大学	1	
亜細亜大学	6	5
跡見学園女子大学	9	9
江戸川大学	1	
桜美林大学	9	3
大妻女子大学	8	10
学習院女子大学	1	1
神奈川大学	6	5
神奈川工科大学	3	1
鎌倉女子大学	1	
川村学園女子大学	4	
関西学院大学	1	1
神田外語大学	4	13
関東学院大学	3	2
北里大学	7	3
共栄大学		1
共立女子大学	9	5
杏林大学	6	4
恵泉女学園大学	2	1
工学院大学	3	1
皇學館大学		2
國學院大学	7	16

大学・学校名等	合格者	
	73回	74回
国際医療福祉大学	3	
国士舘大学	9	4
神戸女学院大学		1
国際基督教大学		1
駒澤大学	19	20
駒沢女子大学	1	3
埼玉学園大学	1	1
埼玉工業大学	1	1
産業能率大学	1	
実践女子大学	2	1
芝浦工業大学	17	11
淑徳大学	1	3
順天堂大学	12	15
城西大学	2	3
城西国際大学	1	
湘南工科大学	1	3
昭和大学	2	
昭和女子大学	12	9
昭和薬科大学	1	
女子栄養大学	2	5
白百合女子大学	3	
成蹊大学	9	7
成城大学	5	3
情報経営イノベーション専門職大学		1
昭和音楽大学		1
聖心女子大学	1	2
清泉女子大学	2	2
聖徳大学	1	5
専修大学	25	18
洗足学園音楽大学	3	1
大正大学	16	4
大東文化大学	11	4
高千穂大学	1	1
拓殖大学	8	8
千葉工業大学	20	34
千葉商科大学	9	2
津田塾大学	3	2
帝京大学	15	7
帝京科学大学	7	3
帝京平成大学	12	9
東海大学	12	16
東京医科大学	2	
東京医療保健大学	3	4
東京家政大学	5	11
東京経済大学	5	4
東京工科大学	12	8
東京工芸大学	3	1
東京国際大学	1	2
東京女子大学	2	12
東京成徳大学	2	2
東京電機大学	17	8
東京都市大学	3	1
東京農業大学	19	11
東京福祉大学	2	
東京未来大学	2	
東京薬科大学	1	4
同志社大学	2	
東邦大学	15	13
東洋大学	54	47
東洋学園大学	8	4
獨協大学	18	36
二松学舎大学	9	1
日本大学	68	80
日本工業大学	3	9
日本獣医生命科学大学	1	
日本女子大学	8	5
日本赤十字看護大学	2	2

大学・学校名等	合格者	
	73回	74回
創価大学		1
玉川大学		3
多摩美術大学		1
中央学院大学		2
中央大学		1
東京医療学院大学		2
東京音楽大学		1
東京家政学院大学		1
東京情報大学		1
東京聖栄大学		3
日本体育大学	2	3
日本薬科大学	1	
文教大学	9	15
文京学院大学	7	3
武蔵大学	11	5
武蔵野大学	20	23
武蔵野美術大学	3	
明海大学	4	2
明治学院大学	7	10
明治薬科大学	1	
名城大学	1	
明星大学	8	1
目白大学	15	7
ヤマザキ動物看護大学	1	
立正大学	11	18
立命館大学	1	1
麗澤大学	2	12
和洋女子大学	1	10
文化学園大学		1
星薬科大学		1
武蔵野音楽大学		1
流通経済大学		1
和光大学		1
合計	714	690

短期大学	73回	74回
ヤマザキ動物看護専門職短期大学	1	
東京歯科大学短期大学	1	1
淑徳大学短期大学部	1	
女子栄養大学短期大学部	1	
日本大学短期大学部		1
清水海上技術短期大学校		1
合計	4	3

専門学校	73回	74回
東京医療秘書福祉専門学校	1	
東京女子医科大学看護専門学校	2	
広尾看護専門学校	1	1
山野美容専門学校	1	
赤堀製菓専門学校	1	
音響芸術専門学校	1	
日本工学院	2	
オーストラリアランゲージスクールズ		1
創形美術学校		1
慈恵看護専門学校		1
昭和大学医学部附属看護専門学校		1
専門学校東洋公衆衛生学院		1
東京情報クリエイター専門学校		1
東京スクールオブミュージック		1
東京デザイナー学院		1
東京モード学園		1
東京メディカルスポーツ		1
東宝学園音響専門学校		1
合計	9	12

就職	73回	74回
株式会社	1	
合計	1	

墨田川高等学校創立百周年を迎えて

墨田川4回 墨水会会長 梶原 徳二

新型コロナウイルス感染症の猛威がやや低迷を始めたなら、新規のオミクロン感染症が又私達を苦しめ始めましたが皆様にはお元気で過ごごしの事と存じます。

さてご承知の通り2022年の今年はいよいよ10月4日に私達の母校都立墨田川高等学校は、創立百周年の記念日を迎える事になります。めでたく百周年を迎える母校の歴史とこの佳日に巡り会える私達の幸運を祝い10月5日に錦糸町のトリフォニーホールにて祝賀式典をあげる事が墨田区長のご配慮もあり決定し、学校側の準備を主体として記念音楽会の計画が歩み始めております。又式典の後東武ホテルバント東京において総会と祝賀会を開催致します。この歴史的な記念日に思い出等を残したい会員の皆様には投稿していただき充実した記念誌を刊行したいと考えております。この他種々の記念事業等を検討しておりますが、その一つが同窓会館の設立です。現在母校の3階の一室にて事務、連絡業務等を行っておりますが、在校生の研修・親睦・会員の会議会合等親睦の場として有効利用

出来る大きな施設を考えておりました。今回タイミングよく、墨水会元会長の方の紹介物件がいろいろな調査により、立地・規模等適当な建物ではないかと考察しました。又この物件の購入に關し特別寄付の申し出もあり、同窓会館の設立も現実のものとなつてきており、今年中には改装工事も可能と思われれます。今後有効な会館使用には費用の準備も考えていかなければなりません。改めて百周年記念事業には会館設立も踏まえて、校風進展を兼ねて大きな展開を期待したいと思っております。すでに軽井沢と館山に寮を持ち、一般財団法人七星会が運営しておりますが、同窓会館の運営も別個の一般社団法人として運営していこうと考えております。最後に墨水会のさらなる進化、発展のために格別のご支援をたまわりますようお願い申し上げます。また、創立百周年記念を機に伝統ある「七中」「七高」「墨田川高校」を光輝ある母校とするために力を尽くしたいと存じますのでご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

編集後記

昨年も新型コロナウイルス禍により暗い世の中でした。墨水会活動もご多分に漏れず、中止・延期など自粛をしておりますが、母校の「創立百周年」を翌年にひかえ、二年振りに総会が開催されました。

墨水会役員の皆さんには学校側の先生方・美汀会役員の方々と「母校の創立百周年事業」の準備を進めていただいております。三月には第二回の実行委員会が開催されます。

広報委員のメンバーもコロナ禍にめげることなく、母校及び墨水会の現状を会員の皆さんにお伝えすべく「墨水会だより」発行に引き続き取り組んでまいります。

今回発行する「墨水会だより二九号」は百周年事業への様々な協力をお願いをする号になりました。

ご寄付をはじめ、記念事業のご提案・ご意見、記念誌作成にあたって、皆さんの在学当時の資料・写真、同期会の動向・思い出・随想などの寄稿等々、「百周年記念事業」を母校復活の礎にすべく、皆さま方のご協力をよろしくお願い致します。

- 墨水会広報委員長 一〇回 難波 直人
- 広報委員 三回 井上 常一
- 〃 一三回 横井 正男
- 〃 一五回 加藤多恵子
- 〃 一五回 竹鼻 宏子
- 〃 一五回 谷澤 尚樹
- 〃 一七回 清澤 健一
- 〃 一八回 小川 浩平